

講義名	研究演習 (人)		
講義コード	25230	授業形態	
担当教員	高橋 宏斗	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限
		キャンパリング・コード	SEM250

学部・学科	演習分野
人間社会学部 人間健康学科	野外教育

**概要説明**

キャンプ等を用いた野外教育の効果は3つの視点で整理されます。

自己：自分の限界の挑戦したり、自分を見つめ直すなど  
 他者：異なる意見を受け入れたり、仲間と新たな一面を知るなど  
 自然：自然を教材として保存し続ける自然の楽しみ方を知るなど

本ゼミでは、キャンプの企画運営やキャンプ指導を題材として、グループで働く能力を養ったり、自己を見つめる機会を設けます。

研究演習 では、自らがキャンプや登山、アウトドアスポーツを体験することで、学びの要素を確認します。  
 研究演習 では、キャンプの企画運営、青少年への指導を行います。  
 卒業研究では、キャンプの教育効果や経済面への影響など、様々なテーマから調査・研究を行い、学会や研究会での発表を行います。

**主な卒業論文のタイトル**

**教員からの要望**

大学生活の中で、部活動やサークル、アルバイトなど今まで過ごしてきた時間とは少し違う、かけがえのない時間を一緒に作りましょう。コミュニケーションを大切にします。研究室への来訪やメールでのやりとりなど、積極的な姿勢に期待します。

下記演習の履修を求めます。  
 ・野外教育活動演習  
 ・レクリエーション指導演習

下記事業への参加を求めます。  
 ・学祭(模擬店出店)  
 ・日本キャンプミーティング(東京都渋谷区:秋頃開催) 学祭優先  
 ・関西野外活動ミーティング(大阪市中央区:3月頃開催)

**選考方法**

成績を参考に、演習申込書と面談によって選考します。個別ガイダンスの期間中に必ず研究室を訪問し、教員と話す機会を持ってください。

**評価方法**

出席、課題(レポート、プレゼンテーションなど)、ゼミ活動に対する積極性や貢献度によって評価します。

**到達目標・成果物**

研究演習 :レクリエーションの実践を通し仲間作りの効果と過程を理解する。野外活動を通じ自己への理解を深める。  
 研究演習 :様々なアウトドアアクティビティを通して自然に親しみ、自分の限界に挑戦できる。  
 研究演習 :培ってきた能力を存分に発揮し、アウトドア事業の企画・運営ができる。  
 卒業研究 :自然体験やキャンプが自己に及ぼす影響について論理的に分析し、他者に説明できる。

教員英字氏名	研究室
Hiroto TAKAHASHI	5427

**最終学歴**

大阪体育大学大学院 スポーツ科学研究科 博士後期課程満期退学

**学位**

修士(スポーツ科学)

**主な研究活動・社会活動・研究業績**

主な研究テーマ  
 ・キャンプ中のストレスと自己成長について  
 ・キャンプ中のストレス対処行動が自己成長に及ぼす影響

社会活動  
 ・兵庫県キャンプ協会運営委員  
 ・関西野外活動ミーティング実行委員

・スポーツチームのチームビルディング指導  
 ・市の青少年指導員へのレクリエーション指導  
 ・地域の子ども達へのキャンプの企画運営・指導

**趣味・特技**

スキー(スノーボードは練習中)、ヨット(ボード)セーリング、焚き火

**所属**

人間社会学部人間健康学科

**所属学会**

日本野外教育学会、大学スキー研究会

**専門分野**

野外教育、レクリエーション

**担当科目**

レクリエーションスポーツ演習/レクリエーションスポーツ演習A、レクリエーション論、レクリエーション指導演習、野外教育活動演習、運動処方演習B、専門基礎演習、教養特講(人間健康学科へのいざない)、自己発見とキャリア開発A/B

**備考**

**実務経験の有無及び活用**